

2025年1月23日

三井不動産株式会社

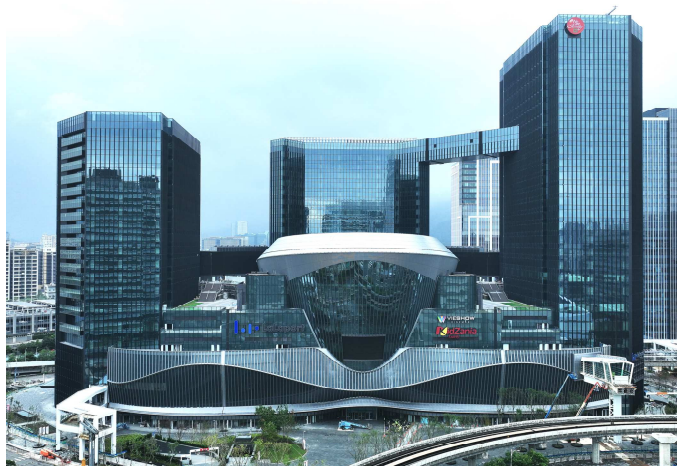
台北市初のららぽーと 「三井ショッピングパーク ららぽーと台北南港」 2025年3月20日(木)グランドオープン決定 台湾初出店ブランドを含む約300店舗がオープン

三井不動産株式会社(所在:東京都中央区、代表取締役社長 植田俊)は、台湾三井不動産股份有限公司(以下、「台湾三井」)を通じ、中国信託金融ホールディングス傘下の台湾人寿保险股份有限公司(本社:台北市、董事長、許舒博、以下、「台湾人寿」)が開発する中国信託金融園區[※]において、台北市初となるららぽーと「三井ショッピングパーク ららぽーと台北南港」(以下、「本施設」)の事業を推進してまいりました。今般、本施設のグランドオープンが2025年3月20日(木)に決定したことをお知らせします。

本施設の出店店舗には、台北市では初出店となるスーパーマーケット「LOPIA」や、日系・インターナショナルファッションブランド、さらに2か所のフードコートを含め、約280店舗が2025年3月20日(木)にオープンします。また、2025年4月以降にはシネマと約20店舗のレストラン、2026年上半期には大型エンターテインメント施設である「キッズニア」が順次開業し、全店舗開業タイミングでは約300店舗規模の施設として、幅広い世代の方に1日中お楽しみいただけるコンテンツを提供します。

当社は、これまでに台湾3大都市圏(台北都市圏、台中都市圏、南部都市圏)において商業施設事業を展開してまいりました。本施設は2023年に開業した「三井ショッピングパーク ららぽーと台中」に引き続き、台湾での2施設目のららぽーとの展開となり、「三井アウトレットパーク」と合わせて5施設目の商業施設となります。今後も台湾においてより魅力的な事業を展開してまいります。

※中国信託金融園區:本施設が位置する街区と既存の中国信託金融ホールディングス本部である街区の計2街区の総称



B1～6Fに「三井ショッピングパーク ららぽーと台北南港」が展開する「中国信託金融園區」 外観

本リリースのポイント

- 台北市初となる「三井ショッピングパーク ららぽーと台北南港」が誕生。2025年3月20日(木)グランドオープン
- 物販、飲食を中心に約280店舗が開業。2025年4月以降、シネマとレストラン区画、2026年上半期にはキッズニアが順次開業、全店舗開業タイミングには約300店舗規模の施設に。
- 特色を持たせた吹抜け空間や、エンターテインメントなどのイベント開催が可能な広場を設置し、リアルならではの体験価値を提供することで、エリアの賑わいを創出。

1. 立地

本施設の計画地は、台北駅から車で約 20 分、台北松山空港から 15 分の交通至便な立地に位置し、台北地下鉄（以下、「MRT」）「南港ソフトウェアパーク駅」から徒歩 1 分、「南港展覽館駅」から徒歩 3 分です。また、台湾高速鉄道が「南港」駅まで開通しており、中南部からの交通も非常に便利な立地に位置します。5 キロ圏内の人口は約 70 万人と豊富な商圏人口を誇り、周辺の南港経貿園區は、オフィス・商業・住宅・コンベンションセンターなど台北市の新都心としての複合的な街づくりが進んでおり、さらなる発展が期待されています。また、本施設が位置する中国信託金融園区内のオフィス棟には合計約 15,000 人の就業人口が見込まれています。



2. 全体開発概要

本施設は、台湾人壽が事業主として開発を行う中国信託金融園區(以下、本開発)に位置しており、当社が運営するららぽーと以外に、オフィス、多機能ホール、宴会場などで構成される大規模複合開発です。

1. 開発の特色

(1) 多機能ホール(当社運営範囲外)

約 4,000 人収容可能な多機能ホールは、コンサートやバスケットボールの試合などを開催することで、スポーツ、エンターテインメントの機能と当社の商業施設の強みを結合し、より高い体験価値を提供していきます。

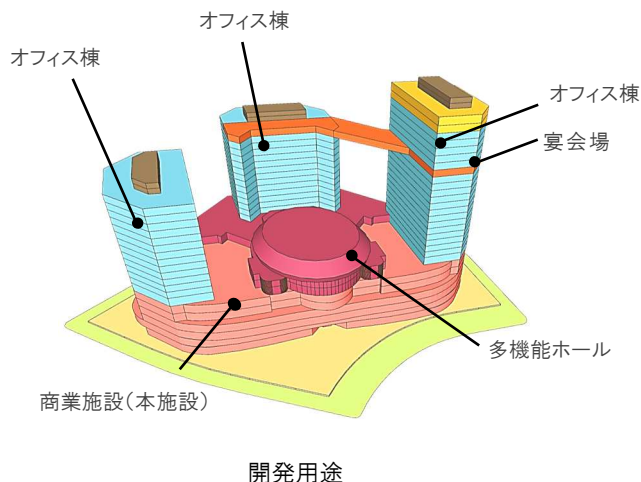
(2) 環境に配慮した建物

本開発は台湾での建築物環境性能評価認定制度「緑建築[※]」でゴールド級を取得する予定です。当社は借主として環境に配慮した建物に入居することで間接的にサステナブル社会に向けた責任を果たします。

(3) ブリッジによる周辺建物との連携

本開発は周辺建物である、南港展覽館、MRT 操車場、中国信託園區、隣地の C4 再開街区と将来的にブリッジと連携し、より一層施設間の相互利用の利便性を向上させております。

※緑建築とは、緑化、保水、省エネ、廃棄物、CO2 削減、室内環境、水資源、汚水、生物多様性の環境性能評価により建築物を格付けした指標です。

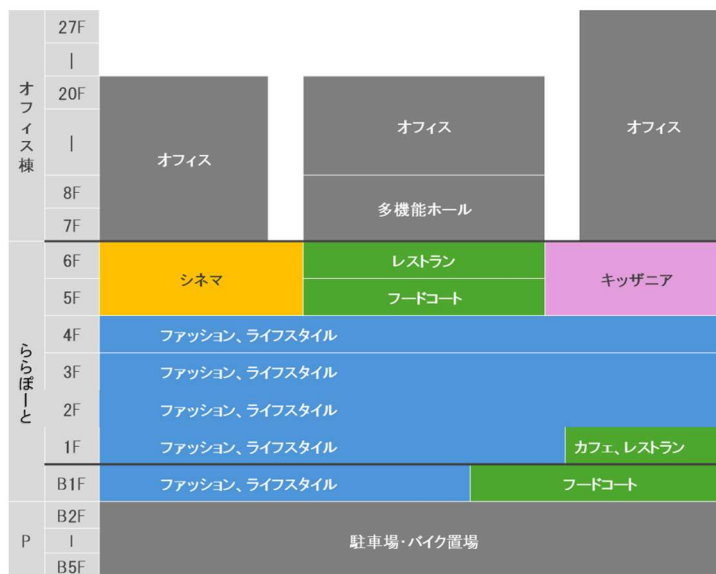


ブリッジ連携概要

3. 本施設の特徴

本施設は「The Gate to Diversity」をコンセプトに、多様な価値観を持つ、たくさんの人々が共存しあう場所を提供します。内装設計はそうした多様な価値観や、過去と未来、自然と都市、台湾と日本など様々な要素を「結ぶ」こと、すなわち「結-MUSUBI」をテーマに多様な価値観のデザインを採用しています。

■ 本施設バーチャルプラン



(1) 都会のオアシス、自然と水が織りなす癒しの空間

台北市という賑やかな都市の中にありながら、まるで自然の中にいるかのようなひとときを味わえる吹抜け空間「メモリーコート」を設置。本施設にも出店予定の「MONCEAU FLEURS」による洗練された植栽デザインで彩られています。さらに、施設内には滝や水景が設置され、水と緑が融合した心地よい環境が広がります。都会にいながらも、自然の息吹を感じられる癒しのスポットとして、訪れる人々に安らぎを提供します。

(2) 未来とファッションが交錯する先進的な空間

未来をイメージした吹抜け空間「フューチャーコート」では、B1 階から 4 階にわたる円柱型 LED ディスプレイを設置。巨大でダイナミックな映像演出が、来場者を圧倒するだけでなく、モダンでファッションナブルな雰囲気を作り出します。未来的で洗練されたデザインが、まさに「ここでしか体験できない」空間を提供し、訪れる人々に驚きと感動を与えます。

(3) 「メモリー」と「フューチャー」の要素を結んだ「ムスピテラス」

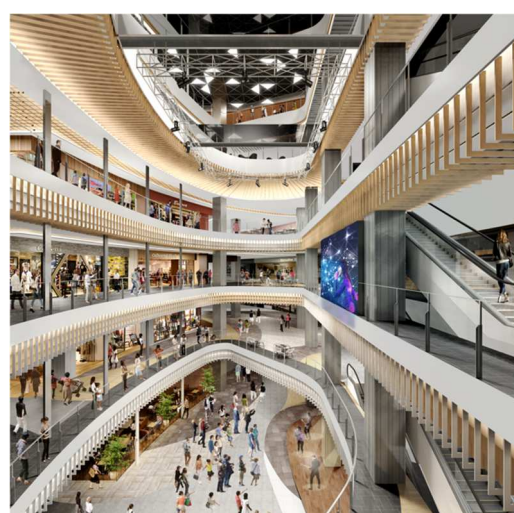
「ムスピテラス」は、1 階から 6 階まで続く開放的な吹抜け空間が特徴で、木目と金属調のルーバーを組み合わせたデザインで「メモリー」と「フューチャー」を表現しています。1 階にはエンターテインメントなどのイベントに対応した広場があり、3 階には多彩な演出が可能な大型 LED ディスプレイを設置。ショッピングだけでなく、さまざまな体験が楽しめる場を目指します。



メモリーコート イメージ



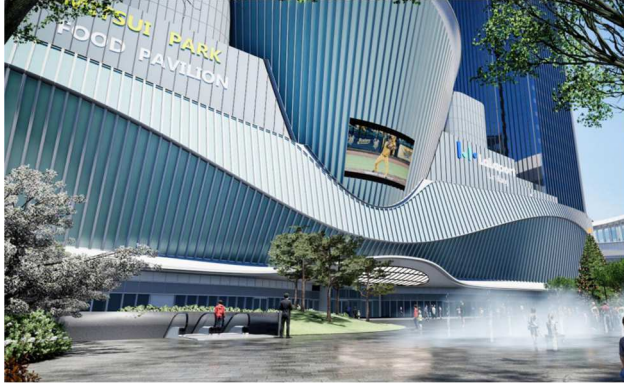
フューチャーコート イメージ



ムスピテラス イメージ

(4) パブリックビューイングのイベントも可能な施設前広場

本施設前の広場は、ベンチなどの休憩スペースが設けられており、開放的でリラックスできる空間としてデザインされています。親子連れや友人同士が気軽に立ち寄れる雰囲気、子どもたちが遊べるポップジェットも設置されており、楽しいひとときを過ごせる場となっています。また、正面エントランスの上部には幅 16m、高さ 8m の大型 LED ディスプレイが備え付けられており、スポーツのパブリックビューイングや季節ごとのイベント、地域コミュニティの催し物など、多様な用途で活用できるのも大きな魅力です。



施設前広場イメージ

(5) お客様にも従業員にもやさしい施設づくり

・日本のららぽーと各施設で展開している「ママ withららぽーと」のノウハウを活かし、台湾でも「子育てに優しい施設」を目指した取り組みを展開します。また、お客さまおよび従業員の皆さまの利便性向上に資する取り組みを進めていきます。



「小さな子どもがいても気兼ねなくショッピングを楽しみたい。」そんなママとパパの想いをカタチにした当プロジェクトは、三井不動産の子育てママ社員の社内提案から始まりました。

「もっとママに優しいららぽーとへ。」をモットーに社内外のアドバイスやお客さまの声をもとに授乳室やキッズスペースなどの施設機能を充実させるだけでなく、親子で楽しんでいただけるイベントを開催するなど、子育て中のママとパパに優しい商業施設を目指しています。

また、台湾では、LaLaport の「La」と、中国語で引くという意味の「拉(La)」の音をかけて、「親子で手を取り合い成長する」という意味を込めています。

- ・フードコート内のキッズスペース
- ・キッズトイレなど子育てに優しい設計のトイレ
- ・おむつ替え室 (COMBI 社製のおむつ替え台採用)
- ・館内各所の休憩スペース
- ・充実した従業員休憩所



おむつ替え台イメージ



キッズトイレイメージ

4. 今後の計画

本施設は約 300 店舗で構成され、主に全館の物販店、スーパーマーケット、B1 階フードホール・5 階フードコートを含む約 280 店舗が 2025 年 3 月 20 日(木)に開業します。

今後、2025 年 4 月以降シネマ、レストラン約 20 店舗、更に 2026 年上半期には台湾初進出の大人気大型エンターテインメント施設「キッズニア」が開業予定です。また、本開発内の多機能ホールやオフィスなども 2025 年内に供用開始を予定しています。

5. 出店ブランドラインナップ

① 台湾初出店 5 ブランドを含む、人気の日系ファッション・インターナショナルカジュアルファッションゾーン

日系ファッションゾーンでは多数の人気キャラクターとのコラボレーション商品やオリジナルキャラクターのファッション・雑貨が話題の「graniph」が台湾初進出。さらに台湾でも安定した人気を誇る日系セレクトファッションなど、台湾最大規模の日系ファッションブランドの集積を実現します。

台湾最大規模の日系ファッションブランド集積



またインターナショナルファッション、ストリート・カジュアルカテゴリーでは、台湾でのポップアップストアの出店がたびたび大きな話題を呼んでいる日系ストリートファッション「9090」、韓国発のカジュアルブランド「MARK GONZALES」が台湾初出店、さらにスポーツブランド「NIKE」の旗艦店「NIKE RISE」や、アメリカ発祥のスケートボード・ファッションブランド「HUF」など、台湾のファッション感度の高い若者たち待望のブランドが多数集結します。

人気のインターナショナルファッション、ストリート・カジュアルファッションも揃い踏み



② 暮らしを彩るライフスタイル雑貨ブランドも充実

日本のショッピングモールでも人気の「LAKOLE」が台湾初出店となるほか、日系人気ライフスタイル雑貨ブランドが集積、毎日の暮らしを彩ります。

暮らしを彩るライフスタイル雑貨ブランドも充実



③ 「キッズニア」が台湾初進出、ほかファミリーで楽しめるお買い物ゾーンも充実

メキシコ発、日本でも大人気の大型エデュテイメント施設「キッズニア」が台湾初進出。さらに日系人気キッズファッション「petit main」、日本・海外で人気急上昇中のファミリーアパレル「comcoca」の台湾初出店や「MARKEY'S」の台北市初出店など、台湾の他の商業施設にはないブランドラインナップでファミリーのお客様をお迎えします。

「キッズニア」が台湾初出店

「キッズニア」は、2歳から14歳の子どもを対象とし、子どもたちが実際の大人社会と職業を模擬体験できる屋内型テーマ施設です。

施設内は、子どもサイズの都市を再現したもので、多くの企業と業種が進出しています。異なる業種やその建物が街並みに立ち並び、子どもたちはこの小さな都市の中で数十種類以上の職業を体験できます。

コンセプトは、「Education 教育」と「Entertainment 娯楽」を融合させた『Edutainment』で、メキシコにて25年前に誕生しました。子どもたちは自分の好きな仕事を体験し、職業体験を通じて実社会の運営を学ぶだけでなく、自立心も育むことができる『子どもたちが主役の都市』です。

「キッズニア」は日本国内で既に3か所あり、それぞれ三井ショッピングパーク アーバンドック ららぽーと豊洲(2006年開業)、三井ショッピングパーク ららぽーと甲子園(2009年開業)、並びに三井ショッピングパーク ららぽーと福岡(2022年開業)にて出店しており、今回台湾へは本施設が初出店になります。

台湾初

KidZania



ファミリーで楽しめるお買い物ゾーン

台湾初

台湾初

台北市初

comcoca petit main



MARKEY'S



GLOBAL WORK



ジワリがいっぱい
どんぐり共和国
Donguri Republic

④ 日系スーパーマーケット「LOPIA」が台北初出店、充実のグロサリーゾーン

2023年の台湾進出以降台湾展開を進める日系スーパーマーケット「LOPIA」が、台北市初出店。ほか「KALDI COFFEE FARM」「Mister Donut」「源吉兆庵」など、デイリーユースとハレの日のニーズの両方に対応したグロサリーゾーンを企画しました。

デイリーユース・ハレの日のニーズの両方に対応した充実のグロサリーゾーン

台北市初



源吉兆庵
K.MINAMOTO



⑤ 2か所のフードコートで楽しめる多彩なグルメ

本施設ではB1階と5階に2か所のフードコートを設けています。

B1階の「FOOD MARKET」では、日本・台湾・世界のグルメ・スナック・スイーツが楽しめる多彩なフードホールが誕生します。「一風堂 Express」や「心斎橋味穂」などの日系人気グルメのほか、台湾南部嘉義県の大人気ローカルグルメ「林聰明砂鍋魚頭」の台北市1号店など台湾グルメも勢ぞろい。さらに台湾地元の人気サンドウィッチ「洪瑞珍」など、施設周辺のオフィスワーカーのランチ需要や近隣にお住まいのお客様のテイクアウトニーズにも対応するグルメが軒を連ねます。

5階の「FOOD HOUSE」では、台湾最新の日系グルメを楽しむ本格的フードコートです。今回台湾初出店となるのはらぽーと福岡で大人気の「カルビ焼肉重ミツボシ」、日本全国に展開する韓国料理「韓美膳」、骨付きのお肉料理を豪快に楽しめる「SAPPORO BONE」の3店舗。さらに台湾で安定した人気を集める「金子半之助」「丸亀製麺」など、台湾最大級の日系グルメフードコートを実現しました。

2つのフードコートで楽しめる多彩なグルメ

台湾初



☆☆☆☆ ミツボシ

台湾初



韓美膳
ハンビジェ

台湾初



SAPPORO BONE

台北市初



林聰明砂鍋魚頭
SMART FISH · SINCE 1953



一風堂

AJI HO

天井専門店



金子半之助

讃岐 釜揚げうどん



丸亀製麺

⑥ 日本・台湾・世界各国の多様なメニューが楽しめるカフェ&レストラン

日本で人気を集めるハワイアンダイニング「La Ohana」、オムライス専門店「ポムの樹」が台湾初進出、グルメ回転寿司「がってん寿司」の新業態「承知の助 by がってん寿司」が台湾初上陸するなど、当社施設ならではの最新日系グルメ集積を実現します。さらに「Tim Ho Wan」などの台湾・アジア・世界のグルメや、「Café Kitsune」や「Snow Peak Café」などのファッションブランドが手掛けるコンセプトカフェなど、様々なシーンでオールデイにお楽しみいただける多様な飲食店のラインナップを取り揃えています。

当社施設ならではの多彩なグルメラインナップ

台湾初



La Ohana
Hawaiian Dining & Cafe

台湾初 ※



創作オムライス
ポムの樹

新業態 ※



承知の助
by がってん寿司

※



焼肉餐廳
京昌園
KEISHOUEN

※



Café Kitsuné
— PARIS —

※



snow peak
Cafe



J.S. FOODIES
TOKYO

※



TimHoWan 添好運

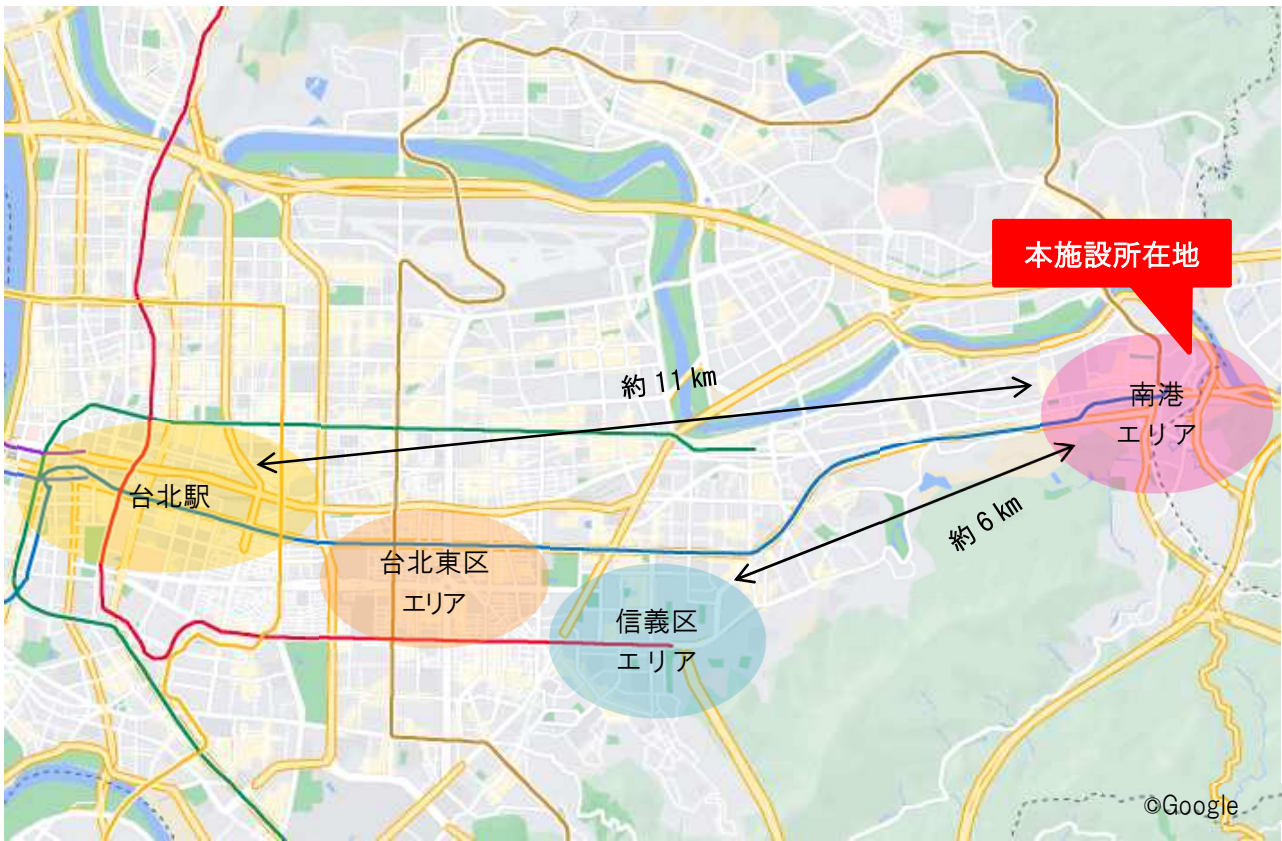
※4月以降開業

【添付資料①】 物件概要

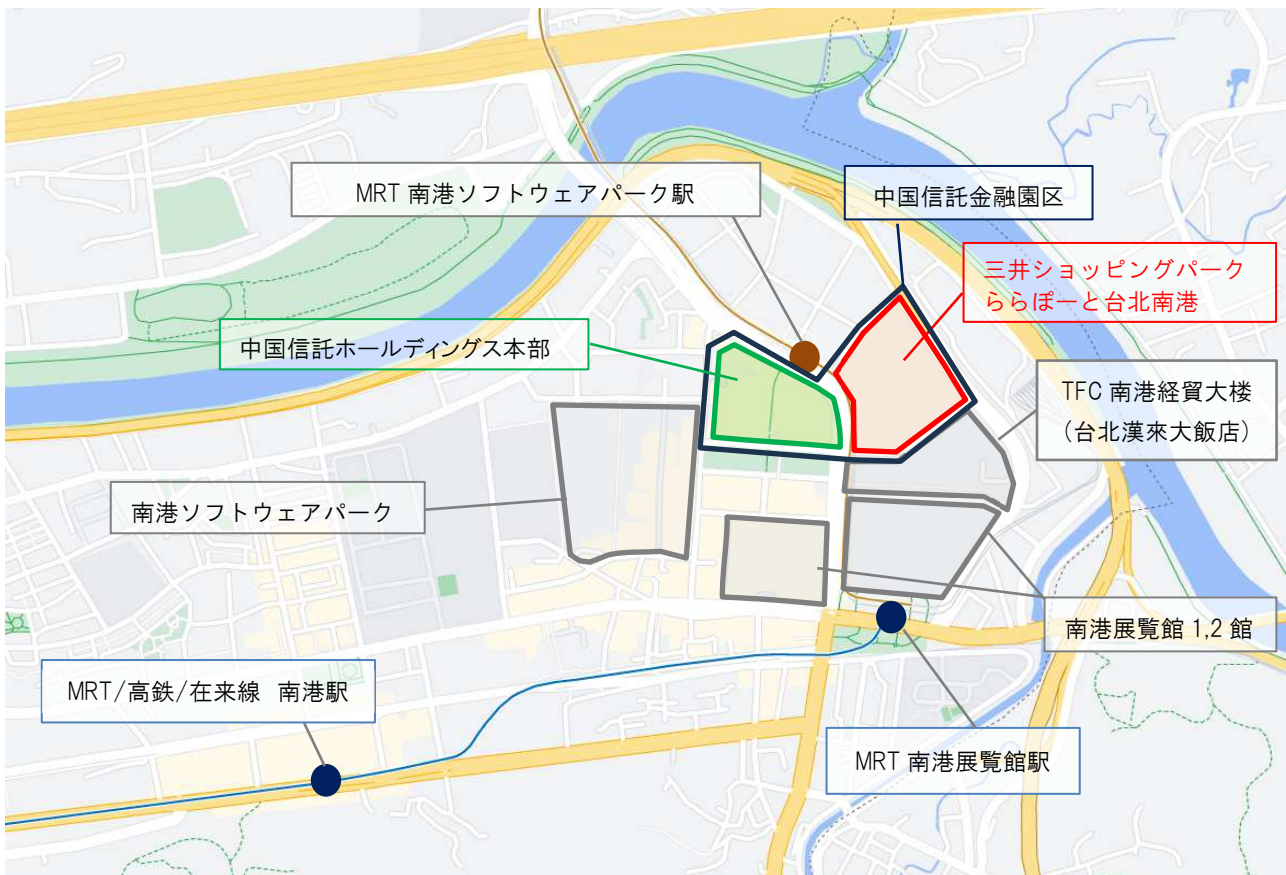
所在地	台湾 台北市南港区經貿二路 131 號
施設名称	三井ショッピングパーク ららぽーと台北南港 (現地表記:Mitsui Shopping Park LaLaport 南港)
交通アクセス	MRT 文湖線「南港ソフトウェアパーク駅」徒歩 1 分 MRT 板南線・文湖線「南港展覽館駅」徒歩 3 分
事業主体	台湾三井不動産股份有限公司南港分公司
事業形態	リージョナル型ショッピングセンター
敷地面積	約 41,500 m ²
延床面積 (商業部分)	約 157,000 m ²
店舗面積	約 70,000 m ²
建物規模	全体:RC/S 構造 地上 27 階 地下 5 階 商業部分:地下 1 階～地上 6 階
店舗数	約 300 店舗
設計会社	全体建築設計 : 李祖原聯合建築師事務所 商業部分内装設計: 株式会社 船場
施工会社	全体建築施工 : 榮工工程股份有限公司 商業部分内装施工 : 台湾船場室内裝修股份有限公司

【添付資料②】位置図

■ 広域図



■ 中域図

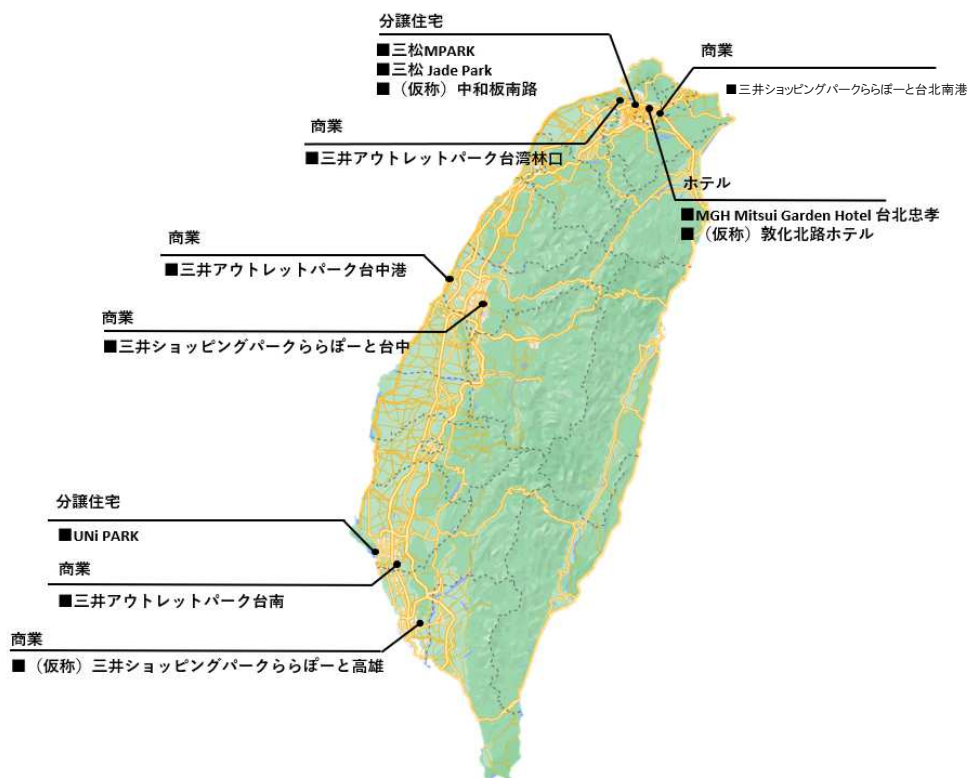


【添付資料③】 三井不動産の海外および台湾での事業について

当社グループは、これまでに米国・英国の欧米諸国にくわえ、中国・台湾・東南アジア・インド・オーストラリアの諸都市で事業を展開してきました。2024年4月に策定したグループ長期経営方針「& INNOVATION 2030」では「海外事業の深化と進化」を掲げ、海外事業の飛躍的な成長を目指しています。

台湾では、2016年に設立した現地法人(台湾三井不動産股份有限公司)を投資拠点として、台湾各地で商業施設事業、ホテル事業、および住宅事業の計13事業を推進しています。また物流施設、複合施設事業などの展開を目指し、今後も更なる事業の拡大をはかります。

主要用途	所在エリア	物件名	オープン・竣工
アウトレットパーク	新北市林口区	三井アウトレットパーク 台湾林口 1期(I館) 2期(II館)	2016年1月 2024年11月
	台中市梧棲区	三井アウトレットパーク 台中港 1期 2期	2018年12月 2021年12月
	台南市歸仁区	三井アウトレットパーク 台南 1期 2期	2022年2月 2025年(予定)
リージョナル型 ショッピングセンター	台北市南港区	三井ショッピングパーク ららぽーと台北南港	2025年3月(予定)
	台中市東区	三井ショッピングパーク ららぽーと台中	2023年5月
	高雄市鳳山区	(仮称)三井ショッピングパーク ららぽーと高雄	2026年(予定)
ホテル	台北市大安区	MGH Mitsui Garden Hotel 台北忠孝	2020年8月
	台北市松山区	(仮称)敦化北路ホテル	2026年(予定)
住宅	新北市三重区	三松 M PARK	2021年11月
	台南市安平区	UNI PARK	2025年(予定)
	新北市板橋区	三松 Jade Park	2026年(予定)
	新北市中和区	META PARK(1期) METRO PARK(2期)	2029年(予定)
	新北市三重区	RIVER PARK	2027年(予定)



【添付資料④】 三井不動産が海外で展開する商業施設(2025年1月現在)

国/地域	物件名	開業年	店舗数 (約)	店舗面積 (約)
中国	三井ショッピングパーク ららぽーと上海金橋	2021年	180店舗	55,000 m ²
	三井ショッピングパーク ららステーション上海蓮花路	2021年	90店舗	16,500 m ²
台湾	三井アウトレットパーク 台湾林口	【1期】2016年	200店舗	45,000 m ²
		【2期】2024年	100店舗	27,000 m ²
	三井アウトレットパーク 台中港	【1期】2018年	170店舗	35,000 m ²
		【2期】2021年	50店舗	8,000 m ²
	三井アウトレットパーク 台南	【1期】2022年	190店舗	34,000 m ²
		【2期】2025年 (予定)	50店舗	10,000 m ²
	三井ショッピングパーク ららぽーと台中	2023年	300店舗	68,000 m ²
	三井ショッピングパーク ららぽーと台北南港	2025年(予定)	300店舗	70,000 m ²
(仮称)三井ショッピングパーク ららぽーと高雄	2026年(予定)	280店舗	70,000 m ²	
マレーシア	三井アウトレットパーク クアラルンプール国際空港セパン	【1期】2015年	130店舗	24,000 m ²
		【2期】2018年	70店舗	9,800 m ²
		【3期】2022年	5店舗	7,000 m ²
	三井ショッピングパーク ららぽーと ブキッ・ビンタン シティ センター	2022年	400店舗	82,600 m ²
合計		10 物件	2,515 店舗	561,900 m ²



【添付資料⑤】 三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

また、2024年4月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY(重点的に取り組む課題)」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取り組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】

「グループ経営理念および長期経営方針策定」

<https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>

「グループマテリアリティ」

https://www.mitsufudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/

* 本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における5つの目標に貢献しています。



<リリース画像のダウンロードサイト>
<https://www.mitsufudosan.co.jp/press/>